

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF 高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
JF香川漁連

第45回放魚祭 高松市で開催

去る7月5日(土)午前10時より、県民に広く稚魚愛護と水産資源保護思想の普及高揚を図ることを目的とした、第45回放魚祭(主催:(一社)香川県水産振興協会、高松市漁業協同組合連絡協議会、香川県漁業協同組合連合会、香川県信用漁業協同組合連合会、(公財)香川県水産振興基金、協賛:香川県、高松市、直島町)が高松市のオークラホテル高松及びサンポート高松せとシーパレットにおいて開催され、浜田県知事、宮本県議会議長、大西高松市長、濱中直島町長ほか水産関係者約100名が出席し、式典や稚魚の放流などが盛大に執り行われました。当日は薄曇りに覆われ涼やかな風が吹く、7月とは思えない過ごしやすき一日となりました。式典はオークラホテル高松で執り行われ、厳かな神事のあと主催者を代表して服部会長から、「稚魚愛護と水産資源保護の精神を、当地高松市から全国に発信するとともに、こうした積み重ねがより大きな輪となり、豊かな瀬戸内海を蘇らせることを願ってやみません。」と挨拶がありました。来賓の浜田県知事からは、「本年は、瀬戸内海国立公園指定80周年の節目の年であり、これからも皆様方とともに力を合わせ、海の環境を守り、豊かで美しい瀬戸内海の実現に向けて取り組むことはもとより、国内外に向けて瀬戸内海の魅力や豊かな海の幸をPRしてまいりたい。」とのご祝辞をいただき、続いて香川県立多度津高校海洋生産科の生徒5名に放流稚魚のお手渡しが行われました。



挨拶する服部会長



児童たちと稚魚の放流

放流会場となったサンポート高松せとシーパレットは、たくさんの大漁旗で彩られ、沖には大漁旗、国旗で色鮮やかに装飾された地元漁船9隻が集結しました。稚魚放流に先立ち、高松市立新番丁小学校5~6年生とその保護者を対象に親子水産教室が実施され、児童たちは放流する魚の名称と特徴、瀬戸内海の環境、香川県で夏に漁獲される魚とその料理方法について説明を受けました。

その後、式典出席者、城東保育園児が、高松市議会中村議長の合図で稚魚の放流を行いました。この日放流された稚魚はベラ5万尾、マダイ・ヒラメ各1千尾及びタケノコメバル5百尾で、これからの豊漁を祈願して高松市の海に放流されました。放流終了後、高松地区各漁協の漁船9隻が出席者に見送られながら順次出港。地元地先に帰り、稚魚の放流を行いました。また、放魚祭の一環として5月にヒラメ2千尾、タケノコメバル約2万5千尾を事前放流しています。事後放流では、クルマエビを高松地区各地先に放流予定です。

地元高松市、直島町及び健全な種苗を提供していただいた香川県、そして漁業者の皆さん他、関係者各位の協力を得て放魚祭は盛況のうちに無事閉会しました。来年度第46回放魚祭は、中讃地区において開催予定です。



決定「香川おさかな大使」

香川県の水産物をPR活動する「香川おさかな大使」の最終審査会が7月18日(金)漁連会館5階中会議室にて行われました。

今年で6回目を迎える「香川おさかな大使」は、さぬき海の幸販売促進事業の一環として募集したもので、おさかな大使には大学生の池田麻由さん(20歳、さぬき市)、団体職員の多田幸代さん(22歳、さぬき市)、大学生の片岡美奈さん(21歳、高松市)の3名が選ばれました。活動期間は9月から来年3月までとなっています。



左から多田幸代さん、片岡美奈さん、池田麻由さん

「香川おさかな大使」には県内から6名の応募があり、書類審査を通過した5名(1名欠席)を服部県漁連会長ら6名の審査員が面接などで審査を行いました。個別面接では、応募理由や香川の水産物について知っていること等についての質問をし、その後の一斉面接では自己PRや県魚ハマチの売り込みを実演してもらい、積極性や明朗性、豊かな表現力、熱意を持つ3名が選ばれました。

保育士を目指しているという池田さんは、母方の実家が観音寺市の伊吹島でイリコ加工場を経営しており「小さいころから慣れ親しんだ魚を子供たちに食べてもらいたい」と抱負を述べ、多田さんは「香川のお魚をPRして、香川の水産業の発展に貢献したい」、片岡さんは「瀬戸内の魚の魅力幅広い世代に広めていきたい。笑顔と元気いっぱい頑張ります」とそれぞれ意気込んでくれました。

また、同日午後1時から開催された、さぬき海の幸販売促進協議会では、平成26年度事業計画等について協議され、昨年度に引き続いて「さぬき海の幸販売促進事業」に取り組み、ハマチ・ノリ・イリコをはじめ、県内水産物の販売促進、販路拡大を積極的に行うことになりました。

香川県漁協職員研修会の開催

7月25日(金)漁連会館6階大会議室において漁協職員研修会(共催:香川県漁協職員協議会、香川県漁業協同組合連合会、香川県信用漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会四国事業本部香川支店)が開催され、県下漁協役員約80名が参加しました。

主催者を代表して職員協子安会長の挨拶後、講師の農林中央金庫高松支店JFマリンバンク四国地区担当部長小川友規氏より「コンプライアンスの重要性について」下記項目と「不祥事例研究」について香川県漁連総務部指導課八木史良氏の講演が行われました。

- 1、コンプライアンスの意味と実践の正しい理解
- 2、漁協におけるコンプライアンスの重要性
- 3、続発する不祥事とコンプライアンスの視点からの教訓
- 4、コンプライアンス態勢確立に向けて

新しい組合長紹介

(敬称略)

香西漁業協同組合

新任 阿部高廣
(平成26年6月22日)

退任 新開義明



多度津町高見漁業協同組合

新任 倉本安則
(平成26年7月5日)

退任 市榮幸茂

